

平成 28 年 5 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社豆蔵ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 荻原 紀男
(コード番号 3756 東証第一部)
問合せ先 IR 担当
(TEL. 03-5339-2100)

連結子会社との合併契約締結に関するお知らせ

株式会社豆蔵ホールディングス（以下「豆蔵 HD」といいます。）と連結子会社である株式会社ジークホールディングス（以下「ジーク HD」といいます。）は、平成 28 年 5 月 27 日開催のそれぞれの取締役会において、豆蔵 HD を存続会社、ジーク HD を消滅会社とする合併（以下「本合併」といいます。）を行うことを決議し、本日付で合併契約（以下「本合併契約」といいます。）を締結いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本合併は、豆蔵 HD とジーク HD のそれぞれの株主総会における本合併の決議の承認を条件としております。

1. 本合併の目的

豆蔵 HD は、M&A を重要な成長戦略の 1 つとして位置づけ、技術、製品、業務など特長ある企業を積極的にグループに加え、より豊かな社会を達成できるよう、工学技術の最先端をリードする企業群を目指して、成長を加速させております。近年においては、今後期待値の高いクラウドサービスやスマートデバイス、ビッグデータといった新たな技術領域において、水道管理のクラウドシステムプロジェクト、自動車関連基盤技術の提供、ソフトウェアによるハードウェア制御など様々な案件を通して IoT 時代に即した技術支援を積極的に行ってまいりました。

一方ジーク HD は、大手製造業を中心とした様々な企業に向けて IT 関連のトータルサービスを提供する企業群となっております。主な事業領域はエンジニアリングサービス、IT サービス、及び IT ソリューションの 3 つとなっております。エンジニアリングサービスは、お客様が望むスキルを有したエンジニアによるサービスの提供、IT サービスは多様なソフトウェアの企画・開発、IT ソリューションは、ERP や生産管理システムをはじめとした、グループ独自のソリューションの提案を行っております。

豆蔵 HD は、平成 27 年 3 月 23 日付で公表いたしました「株式会社ジークホールディングスに対する株式公開買付けの終了及び子会社の異動に関するお知らせ」に記載のとおりジーク HD を連結子会社としております。

豆蔵 HD 及びジーク HD は上記公表以降、グループ営業会議での連携及び豆蔵 HD の保有する経営ノウハウの共有を行ってまいりました。この結果、共同での案件獲得、決算の早期化をはじめ

とする管理体制の強化、グループ内再編による経営の合理化・効率化等が進んでまいりました。

一方で、豆蔵 HD 及びジーク HD は、事業会社同士の連携をより円滑に行う上で重複した機能の整理、ジーク HD のシンガポール証券取引所カタリスト市場での上場意義、M&A 案件に関する情報の集約等の改善すべき課題について協議検討してまいりました。その結果、ジーク HD がシンガポール証券取引所カタリスト市場から上場廃止することとし、平成 28 年 5 月 10 日のジーク HD 臨時株主総会にて上場廃止の決議をいたしました。この上場廃止に引き続き本合併を行うことで、上記の課題の大部分を解決した上で、さらなる収益の拡大ができるものとの判断に至りました。

2. 本合併の要旨

(1) 本合併の日程

豆蔵 HD 取締役会決議日	平成 28 年 5 月 27 日
ジーク HD 取締役会決議日	平成 28 年 5 月 27 日
契約締結日	平成 28 年 5 月 27 日
株主総会決議日（豆蔵 HD）	平成 28 年 6 月 22 日（予定）
株主総会決議日（ジーク HD）	平成 28 年 6 月 30 日（予定）
実施予定日（効力発生日）	平成 28 年 7 月 1 日（予定）

(2) 本合併の方式

豆蔵 HD を存続会社とする吸収合併方式で、ジーク HD は消滅いたします。

(3) 本合併に係る割当ての内容等

	豆蔵 HD (吸収合併存続会社)	ジーク HD (吸収合併消滅会社)
本合併に係る 割当ての内容	1	0.04

(注 1) ジーク HD の普通株式 1 株に対して、豆蔵 HD の普通株式 0.04 株を割当て交付いたします。

ただし、豆蔵 HD が保有するジーク HD の普通株式 (76,281,440 株、約 71.97% 保有)、及びジーク HD が現在保有する自己株式 11,824,000 株については、本合併による株式の割当ては行いません。

なお、豆蔵 HD が保有するジーク HD の普通株式の中に、ジーク HD のシンガポール証券取引所カタリスト市場での上場廃止に伴い、豆蔵 HD が行うジーク HD 普通株式の買付け (「Exit Offer」といいます。) によって豆蔵 HD が取得したジーク HD の株式 12,780,440 株を含みます。

(注 2) 本合併により交付する豆蔵 HD の株式数は、普通株式 1,188,142 株を予定しています。豆蔵 HD は、その保有する自己株式 (現在 1,506,600 株) の一部を本合併の交付株式に充当

することを予定しております。

(注3) 単元未満株式の扱い

本合併に伴い、豆蔵 HD の単元未満株式 (100 株未満の株式) を保有することになるジーク HD の株主の皆様は、豆蔵 HD の普通株式に関する以下の制度をご利用いただくことができます。なお、金融商品取引所において単元未満株式を売却することはできません。

※単元未満株式の買取制度 (100 株未満株式の売却)

会社法第 192 条第 1 項の規定に基づき、豆蔵 HD の単元未満株式を保有する株主の皆様が、その保有する単元未満株式を買い取ることを請求することができる制度です。

(注4) 本合併に伴い、豆蔵 HD の株式 1 株に満たない端数の割当てを受けることとなるジーク HD の株主の皆様に対しては、会社法第 234 条その他関係法令の定めに従い、1 株に満たない端数部分に応じた金額を現金でお支払いいたします。

(4) 本合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

ジーク HD が発行する第 5 回新株予約権については、ジーク HD が開催予定の株主総会にて本合併の承認がなされた後に、ジーク HD が新株予約権のすべてを無償で取得し、消却する予定です。

また、ジーク HD が発行する第 2 回新株予約権については本合併による新株予約権その他の財産の割当ては行いません。

なお、ジーク HD は新株予約権付社債については、発行をしておりません。

3. 本合併に係る割当ての内容の根拠等

(1) 割当ての内容の根拠及び理由

豆蔵 HD とジーク HD は、上記 2. (3) 「本合併に係る割当ての内容等」に記載の本合併比率の決定にあたって公正性・妥当性を期するため、豆蔵 HD は株式会社 KPMG FAS (以下「KPMG」といいます。) を、またジーク HD はビバルコ・ジャパン株式会社 (以下「BVCJ」といいます。) を、合併比率の算定に関する第三者算定機関としてそれぞれ選定の上、それぞれ本合併に用いられる合併比率の算定を依頼し、当該第三者算定機関による算定結果等を参考にそれぞれ両者の財務の状況、資産の状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、両社間で合併比率について慎重に交渉・協議を重ねた結果、最終的に本合併比率が妥当であるとの判断に至り、合意いたしました。

(2) 算定に関する事項

① 算定機関との関係

KPMG 及び BVCJ は、いずれも両社から独立した第三者算定機関であり、関連当事者には該当せず、本合併に関して記載すべき重要な利害関係を有しておりません。

② 算定の概要

KPMG は、本合併における算定手法を検討した結果、豆蔵 HD は東京証券取引所第一部に上

場しており、ジーク HD の普通株式は平成 28 年 5 月までシンガポール証券取引所カタリスト市場に取引されていたことから、両社の普通株式について市場株価法による算定評価を実施しました。なお、ジーク HD については、株式回転数、日々の出来高実績等を勘案し、多角的な評価を実施する観点から、類似会社比較法による評価も実施しました。なお、下記の合併比率のレンジは、ジーク HD の普通株式 1 株に割り当てられる豆蔵 HD の普通株式数の算定レンジを記載したものです。

採用手法		合併比率の算定結果
豆蔵 HD	ジーク HD	
市場株価法	市場株価法	0.0318～0.0325
	類似会社比較法	0.0539～0.0702

市場株価法については、株式市場の状況等の諸事情を勘案し、両社とも算定基準日（平成 28 年 5 月 13 日）における株価、並びに算定基準日から遡る 1 ヶ月、3 ヶ月、6 ヶ月の各期間の平均株価に基づき算定を行いました。なお、両社の株価について、豆蔵 HD は終値単純平均株価を、シンガポール証券取引所カタリスト市場に上場するジーク HD については株式の出来高の水準が低い点を勘案し、より個々の取引を重視した出来高加重平均価格を採用することとしました。また、日本円とシンガポールドルの為替換算は、算定基準日の 79.28 円=1 シンガポールドルのレートを採用しました。

類似会社比較法では、ジーク HD の主要事業であるメカエレキソフト領域におけるエンジニアリングサービス、ビジネスソフトウェアの開発を中心とした IT サービス、ERP コンサルティングサービスを含む IT ソリューションの 3 事業の事業内容、規模の類似性等を勘案し、類似企業を選定した上、類似企業の今期業績予想に基づく EBITDA 倍率、PER を用いて、ジーク HD の普通株式の価値の算定を行いました。

一方、BVCJ は、本合併における算定手法を検討した結果、豆蔵 HD は東京証券取引所第一部に上場しており、ジーク HD の普通株式は平成 28 年 5 月までシンガポール証券取引所カタリスト市場に取引されていたことから、両社の普通株式について市場株価法により算定評価を実施しました。なお、ジーク HD については、シンガポール証券取引所カタリスト市場での売買は取引が成立していない日が数多くあり、必ずしも株式市場での株価形成が適正ではない可能性があることを勘案し、類似会社比較法による評価も実施しました。なお、下記の合併比率のレンジは、ジーク HD の普通株式 1 株に割り当てられる豆蔵 HD の普通株式数の算定レンジを記載したものです。

採用手法		合併比率の算定結果
豆蔵 HD	ジーク HD	
市場株価法	市場株価法	0.0250～0.0387
	類似会社比較法	0.0381～0.0481

市場株価法については、株式市場の状況等の諸事情を勘案し、両社とも算定基準日（平成28年5月13日）における株価、並びに算定基準日から遡る1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年の各期間の平均株価に基づき算定を行いました。なお、両社の株価について、終値単純平均株価（出来高のない日を除く）を採用しております。また、日本円とシンガポールドルの為替換算は、算定基準日の79.28円=1シンガポールドルのレートを採用しました。

類似会社比較法では、日本の市場において株式を公開している類似企業を選定した上で事業価値/EBITDA倍率、PER、PBRを用いてジークHDの普通株式の価値の算定を行いました。

（3）公正性を担保するための措置

本合併に際しては、本合併に用いられる合併比率の決定にあたって公正性・妥当性を期するため、豆蔵HDはKPMGを、ジークHDはBVCJを、それぞれ独立した第三者算定機関として選定の上、本合併に用いられる合併比率の算定を依頼し、合併比率算定書を取得しました。算定書の概要は上記「（2）算定に関する事項」をご参照下さい。

なお、両社は、第三者算定機関から、本合併比率に関するフェアネス・オピニオンを取得しておりません。

（4）利益相反を回避するための措置

本合併は、親会社である豆蔵HDと子会社であるジークHDが合併するものであり、利益相反構造が存在することから、ジークHDでは、本合併に関し、利益相反を回避するための措置として利害関係を有する取締役を除く取締役全員の承認を得ております。

ジークHDの取締役のうち、荻原紀男は、豆蔵HDの取締役を兼務しているため、小林学及び船越稔は、本合併の承認を諮る株主総会において合併後の豆蔵HDの取締役候補者として選任される予定であるため、ジークHDの取締役会における本合併の決議には参加しておりません。

ジークHDの取締役会における本合併に関する議案は上記3名を除く取締役の全員一致により承認されております。

4. 本合併当事会社の概要(平成28年3月31日時点)

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社
(1) 名称	株式会社豆蔵ホールディングス	株式会社ジークホールディングス
(2) 所在地	東京都新宿区西新宿2-1-1	東京都港区高輪3-26-33
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 荻原紀男	代表取締役社長 小林学
(4) 事業内容	豆蔵ホールディングスグループの持株会社として、グループ企業の管理、営業、マーケティング及びIR	ジークホールディングスグループの持株会社として、グループ企業の統括、経営戦略、財務戦略、その他の経営管理

(5) 資本金	864,966千円	666,684千円						
(6) 設立年月日	平成11年11月	平成17年9月						
(7) 発行済株式数	17,787,000株 (自己株式1,506,600株を除く)	105,985,000株 (自己株式11,824,000株を除く)						
(8) 決算期	3月31日	3月31日						
(9) 従業員数	(連結) 2,022名	(連結) 1,150名						
(10) 主要取引銀行	株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行	株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社十六銀行 株式会社東京都民銀行						
(11) 大株主及び持株比率	<p>情報技術開発株式会社 17.31%</p> <p>日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口、信託口1~6) 7.20%</p> <p>BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG 常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行 2.98%</p> <p>CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部 2.54%</p> <p>松本 修三 1.94%</p> <p>荻原 紀男 1.67%</p> <p>渡辺 正博 1.56%</p> <p>豆蔵グループ従業員持株会 1.51%</p> <p>株式会社SBI証券 1.41%</p> <p>日本生命保険相互会社 1.18%</p> <p>(自己株式を控除した比率)</p>	<p>豆蔵HD 71.97%</p> <p>ジーク従業員持株会 8.62%</p> <p>船越 稔 4.65%</p> <p>野村 宏 4.59%</p> <p>小林 学 1.03%</p> <p>(自己株式を控除した比率。本開示情報発表した時点)</p>						
(12) 当事会社間の関係	<table border="1"> <tr> <td>資本関係</td> <td>豆蔵HDはジークHDの発行済株式総数105,985,000株(自己株式11,824,000株を除く)の71.97%に相当する76,281,440株を所有しております。(本開示情報発表した時点)</td> </tr> <tr> <td>人的関係</td> <td>豆蔵HD代表取締役社長の荻原紀男はジークHDの取締役を兼任しております。豆蔵HDの取締役1名がジークHDの子会社の代表取締役を兼任しております。</td> </tr> <tr> <td>取引関係</td> <td>ジークHDは豆蔵HDの子会社が提供する製品を購入しております。ジークHDの子会社は豆蔵HD及び豆蔵HDの子会社に対して売上及び仕入があります。</td> </tr> </table>		資本関係	豆蔵HDはジークHDの発行済株式総数105,985,000株(自己株式11,824,000株を除く)の71.97%に相当する76,281,440株を所有しております。(本開示情報発表した時点)	人的関係	豆蔵HD代表取締役社長の荻原紀男はジークHDの取締役を兼任しております。豆蔵HDの取締役1名がジークHDの子会社の代表取締役を兼任しております。	取引関係	ジークHDは豆蔵HDの子会社が提供する製品を購入しております。ジークHDの子会社は豆蔵HD及び豆蔵HDの子会社に対して売上及び仕入があります。
資本関係	豆蔵HDはジークHDの発行済株式総数105,985,000株(自己株式11,824,000株を除く)の71.97%に相当する76,281,440株を所有しております。(本開示情報発表した時点)							
人的関係	豆蔵HD代表取締役社長の荻原紀男はジークHDの取締役を兼任しております。豆蔵HDの取締役1名がジークHDの子会社の代表取締役を兼任しております。							
取引関係	ジークHDは豆蔵HDの子会社が提供する製品を購入しております。ジークHDの子会社は豆蔵HD及び豆蔵HDの子会社に対して売上及び仕入があります。							

	関連当事者への 該当状況	ジークHDは豆蔵HDの連結子会社となっております。				
(13)	最近3年間の経営成績及び財政状態					(単位：百万円)
決算期	株式会社豆蔵ホールディングス (連結)			株式会社ジークホールディングス (連結)		
	平成26年 3月期	平成27年 3月期	平成28年 3月期	平成26年 3月期	平成27年 3月期	平成28年 3月期
連結純資産	3,765	5,163	6,109	2,173	2,214	2,516
連結総資産	6,600	12,274	12,987	4,094	4,521	3,966
1株当たり連結純資産(円)	214.48	245.12	288.84	19.76	20.89	23.74
連結売上高	9,986	12,781	22,717	7,564	8,481	8,974
連結営業利益	1,040	1,143	1,837	35	352	589
連結経常利益	1,026	1,123	1,821	53	368	576
親会社株主に帰属する 当期純利益	581	590	927	29	184	342
1株当たり連結当期純利益 (円)	33.37	33.62	52.59	0.34	1.71	3.23
1株当たり配当金(円)	6	6	9	—	0.90	—

5. 本合併後の状況

	吸収合併存続会社
(1) 名称	株式会社豆蔵ホールディングス
(2) 所在地	東京都新宿区西新宿2-1-1
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 荻原 紀男
(4) 事業内容	豆蔵ホールディングスグループの持株会社として、グループ企業の管理、営業、マーケティング及びIR
(5) 資本金	現時点では確定していません。
(6) 決算期	3月31日
(7) 純資産	現時点では確定していません。
(8) 総資産	現時点では確定していません。

6. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に定める共通支配下の取引等に該当し、これに基づく会計処理を実施する予定です。

7. 今後の見通し

本合併は、今期の業績への影響は軽微なものを見込んでおります。今後の見通しに変更が生じた場合には速やかにご報告いたします。

以 上